



米穀機構 情報部

vol. 1

創刊号

2007年3月発行

(社)米穀安定供給確保支援機構(米穀機構) 情報部
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-6
TEL.03-3222-9583 FAX.03-3264-1771

米穀機構情報部では、お米に関する様々な情報をホームページ「米ネット」及び紙媒体により提供をしています。この度、平成19年度の新たな取組として、お米に関する全国の情報を「米穀機構・情報部かわら版」にまとめ、皆様にご紹介することとなりました。今回、その前段として、「創刊号」を発行いたします。

1 トップページ <http://www.komenet.jp/>

トップページには、「お米生産・流通・価格ゾーン」「お米の需給情報データベースゾーン」「お米で健康・食生活ゾーン」「クッキングゾーン」「お米ものしりゾーン」「Q&Aゾーン」「あんな米・こんな米ゾーン」「生産者のコーナー」の掲載内容が一覧でき、それぞれのコンテンツにリンクできます。また、「What's New」のコーナーに最新の更新情報が掲載されています。



<ul style="list-style-type: none"> お米生産・流通・価格ゾーン お米の需給情報データベースゾーン お米・ごはん食データベースゾーン お米で健康・食生活ゾーン クッキングゾーン お米ものしりゾーン Q&Aゾーン よくある質問にお答えします あんな米・こんな米ゾーン 生産者のコーナー <p> ▶ 米穀機構のご案内 ▶ 関連リンク集 ▶ サイトマップ ▶ 米トレーサビリティシステム </p> <p> <input type="text" value="サイト内検索"/> <input type="button" value="検索"/> </p>	<h3>What's New</h3> <p style="text-align: right;">最終更新日: 2007/3/2</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年度 新たな米加工品発表会の開催について 「食事バランスガイド」のご紹介 <p> 2007/03/02 種苗法による品種登録について [PDF] 2007/03/01 「いまだき!ごはん」のページを更新しました。 2007/03/01 ごはんレシピナビ「おすめレシピ」を更新しました。今回は「納豆めしの青じその焼きおにぎり」のご紹介です。 2007/02/28 よくある疑問・質問にお答えする「お米Q&A」のページを新設しました。 2007/02/28 ごはんレシピナビに新メニューを追加更新しました。新メニューは「全レシピ一覧」でご確認いただけます。 </p> <p style="text-align: right;">過去の更新情報 >>></p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; color: blue;">お米生産・流通・価格ゾーン</p> <p> お米生産・流通・価格情報 お米の生産・流通・価格についての情報をご提供しています</p> </div> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center; color: purple;">お米の需給情報データベースゾーン</p> <p> お米の需給情報データベース お米の消費、生産、需給、価格動向等についての情報をご提供しています</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center; color: red;">お米・ごはん食データベースゾーン</p> <p> お米・ごはん食データベース 「お米と健康」、「ごはんでヘルシーメニュー」、「お米と文化」についてのデータベースです</p> </div>
--	--	---

2. クッキングゾーン

<http://www.komenet.jp/saijiki/index.html>

クッキングゾーンには、手軽にできる料理レシピ250件が登録されている「ごはんレシピナビ」、日本各地の特産物と結び付いた「ふるさと特産おにぎり」や四季折々の旬を盛り込んだ「行楽おにぎり」など多種多様なおにぎりを紹介した「おにぎり100選」、日本のごはん料理の12カ月を紹介した「ごはんSAIJIKI」が掲載されています。



延べ34,323人が選んだ「ごはんSAIJIKI」です。

決定！日本のごはん料理12ヵ月



※無断転載を禁ず

3. Q&Aゾーン

<http://www.komenet.jp/faq/index.html>

Q&Aゾーンには、「米ネット」に寄せられたお米やごはんに関する質問と回答が掲載されています。

みんなの疑問や質問にお答えします
お米Q&A

「米ネット」に寄せられたお米やごはんに関する質問と回答が掲載されています。

■ 小学生からの質問

- お米はなぜおいしいのでしょうか？
- お米はなぜ白くなるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに水を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに火を止めるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに蒸気を飛ばすのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに塩を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに油を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに酒を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに醤油を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに味噌を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに砂糖を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに酢を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに醤油を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに味噌を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに砂糖を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに酢を加えるのでしょうか？

■ 一般の方からの質問

- お米はなぜおいしいのでしょうか？
- お米はなぜ白くなるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに水を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに火を止めるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに蒸気を飛ばすのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに塩を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに油を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに酒を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに醤油を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに味噌を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに砂糖を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに酢を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに醤油を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに味噌を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに砂糖を加えるのでしょうか？
- お米はなぜ炊くときに酢を加えるのでしょうか？

▶ ネットトップページへ戻る ▶

Q 田んぼの役割を教えてください。

A

田んぼの役割といえば、なんといっても、おいしいお米を作って食料を供給することですが、実はそれ以外にも、田んぼでお米を作ることは、私たちの暮らしや自然環境を守る大きな役割をはたしています。

- 洪水や地すべり、土壌浸食の防止
田んぼは大きなため池の役割をはたし、大雨のときには雨水をためることで、たくさんのお水がいったんはに溜め込まれ、徐々に放出されます。
- 空気をきれいにする・地球温暖化の防止
稲は光のエネルギーを受けて、葉から緑葉した空気中の二酸化炭素と根から吸い上げた水とで、でんぷんを作ります。その際に、葉から酸素をばき出します。今、世界中で、地球の環境を守るために、二酸化炭素の量がこれ以上増えないようにするための取り組みがおこなわれていますが、稲はその役割をはたしているのです。また、稲葉は、私たちが、動物、植物が生きていくために欠かせないのです。
- 気候上昇を防ぐ
葉や根を吸収し、たくさんのお水をため込むというお米の性質によりエネルギーをたくさん使ったときに、田んぼの水が蒸発するときに大気から熱をうばうため、まわりの気候の上昇を防ぎます。
- 自然環境を守る
田んぼは、季節のいんや、草花のゴキ、レストランの種などをたいして育てたり、田んぼの土の中の微生物の働きで有機物を分解して稲に供給したりします。また、鳥や魚、タニシやザリガニなどの野生動物のすみかを提供しています。田んぼの稲は二

種化処理を吸収して酸素を供給してくれます。稲と田んぼの土中の有機物が、田んぼを通る水の栄養分を吸収するので、その結果、よけいな栄養分が河川を汚してしまうことを防いでくれるといわれています。

- 水資源の確保
田んぼからは河川にゆっくりと水がもどったり、一部の水が地中にしみこんで地下水ともなったりする形で、自然の中で水の量が常に一定に保たれることにも役立っています。
- 社会のいろいろなしくみや働きを潤す
田んぼは作物の生産、流通、加工、販売などの入り口として、社会のいろいろなしくみや働きを潤すことにも役立ちます。また、作物をつくる喜びを体験する良い場所にもなります。
- 良い景色を生み出す
稲作では美しい自然や環境を維持し、うるおいと安らぎを与えてくれます。また、自然環境の大切さを体験したり、親戚と田んぼの交流の場ともなっています。
- 文化の維持・継承
田んぼで行われるお米作りは長い歴史を持っており、田んぼ祭りなど、長年わたってつづかれた文化の場や、暮らしの場ともなっています。



4.米の1人1カ月当たり消費量の推移

(お米の需給情報データベースゾーンより抜粋)

米の1人1カ月当たり消費量は、長期的には一貫して減少傾向にあります。

最近の動きを見ると、米の1人1カ月当たりの消費量が前年同月を上回る月もありましたが、下記のとおり平成18年7月以降対前年同月比で減少となっています。

●米の1人1カ月当たり消費量の推移

<http://www.komenet.jp/komedata/shouhi/2004/data1.html>

単位:精米グラム、%

	全世帯		消費世帯		生産世帯	
		対前年比		対前年比		対前年比
平成14年度	5,007	▲ 1.1	4,895	▲ 1.1	6,294	▲ 0.4
15年度	4,961	▲ 0.9	4,850	▲ 0.9	6,283	▲ 0.2
16年度	4,913	▲ 1.0	4,814	▲ 0.7	6,158	▲ 2.0
17年度	4,877	▲ 0.7	4,772	▲ 0.9	6,232	1.2
4月	4,921	▲ 0.0	4,831	0.1	6,144	▲ 1.0
5月	4,995	0.4	4,901	0.6	6,278	0.1
6月	4,750	0.2	4,657	0.4	6,015	▲ 0.4
7月	4,701	▲ 0.3	4,611	0.0	5,932	▲ 2.0
8月	4,816	▲ 0.7	4,723	▲ 0.5	6,085	▲ 0.7
9月	4,733	▲ 0.1	4,638	0.1	6,029	▲ 1.2
10月	4,923	▲ 0.3	4,828	▲ 0.2	6,226	▲ 0.2
11月	4,831	▲ 0.9	4,732	▲ 1.0	6,186	1.3
12月	4,979	▲ 1.5	4,852	▲ 1.4	6,704	▲ 0.6

資料:農林水産省「米の消費動向等調査」

注:1) 年度値については、1人1ヵ月当たりの消費量の年度平均値である。

2) うるう年及びうるう年の2月については、平年ベースへの補正を行っている。

5.政府米の月別販売動向

(お米の需給情報データベースゾーンより抜粋)

政府米の販売は、下記のとおりであり、本年8月～9月までは、平成18年産米の本格的流通開始時期を控えて、販売数量は減少しましたが、10月以降、業務用として使用される18年産の低価格米が不足していることを背景に増加しています。

●政府米の月別販売動向

<http://www.komenet.jp/komedata/jukyu/2004/data10.html>

単位:千トン

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
15/16年	9	13	77	224	61	185	63	96	280	2	24	21	1,055
16/17年	16	9	3	3	2	1	1	3	4	3	3	4	52
対前年差	7	▲ 4	▲ 74	▲ 221	▲ 59	▲ 184	▲ 62	▲ 93	▲ 276	1	▲ 21	▲ 17	▲ 1,003
17/18年	5	7	5	5	5	6	6	9	13	15	22	24	122
対前年差	▲ 11	▲ 2	2	2	3	5	5	6	9	12	19	20	70
18/19年	36	23	13	14	22	30	28						166
対前年差	31	16	8	9	17	24	22	0	0	0	0	0	44

資料:農林水産省調べ

注1:ラウンドの関係で内訳と計が一致しない場合がある。

2:19年1月の販売数量は速報値である。

3:販売数量は実績に卸売業者等が引き取った実績であり、契約数量とは異なる。

4:期間については、18/19年であれば、18年7月～19年6月である。

6 全農・全集連販売米の販売動向

(お米の需給情報データベースゾーンより抜粋)

全農、全集連が販売委託を受けて販売を行った米の販売実績は、下記のとおりであり、18年7月～10月までは、前年同時期を上回っていますが、11月以降は、前年同時期を下回っています。なお、累計では、前年を153千トン上回っています。

●全農・全集連販売米の販売実績 <http://www.komenet.jp/komedata/jukyu/2004/data6.html>

単位:千トン

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	～1月 累計	2月	3月	4月	5月	6月	年計
15年	269	254	279	411	443	231	127	2,014	126	187	186	200	291	3,004
16年	182	186	213	513	211	222	191	1,718	224	365	327	270	526	3,430
対前年差	▲87	▲68	▲66	102	▲232	▲9	64	▲296	98	178	141	70	235	426
17年	166	186	192	248	209	240	221	1,462	225	309	265	298	317	2,876
対前年差	▲16	0	▲21	▲265	▲2	18	30	▲256	1	▲56	▲62	28	▲209	▲554
18年	244	255	216	300	193	236	171	1,615						
対前年差	78	69	24	52	▲16	▲4	▲50	153						

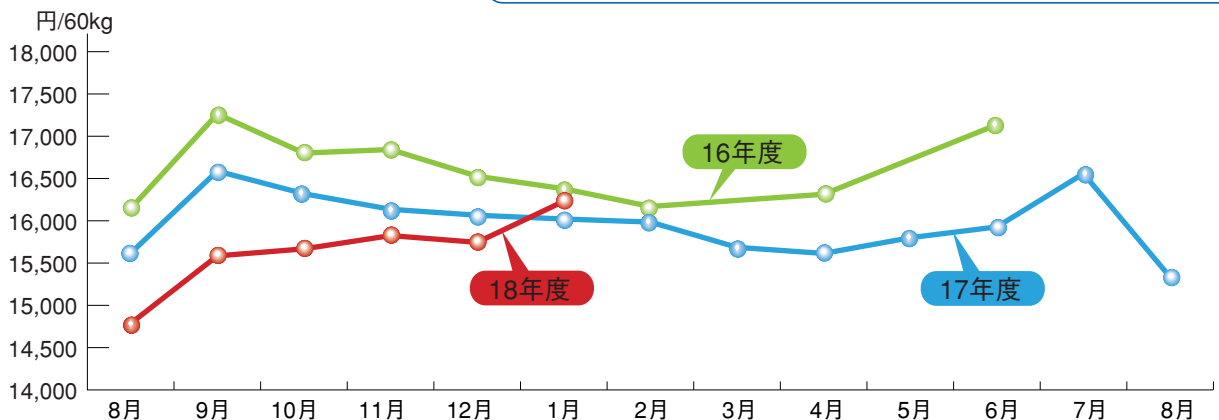
注1: 15年産米以前は旧自主流通の販売実績であるが、16年産米以降は16年4月の食糧法改正に伴い、計画流通制度が廃止されたことから、全農・全集連販売米の販売実績を掲載している。
注2: ラウンドの関係で内訳と計が一致しない場合がある。
注3: 18年の販売実績は速報値である。

7 コメ価格センターの入札価格の動向

(お米の需給情報データベースゾーンより抜粋)

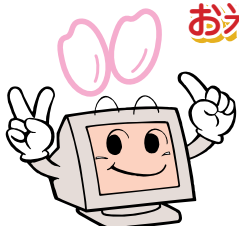
コメ価格センターにおける平成18年産米の入札価格は、下記のとおり前年と比較して落札平均価格で300円/60kg～1,000円/60kg程度低い水準で推移していましたが、19年1月の落札平均価格は、210円/60kg上回っています。

●米穀の入札回別落札平均価格の推移 <http://www.komenet.jp/komedata/kakaku/2004/data2.html>



注1: 18年産から、公表価格には包装代(紙袋)、拋出金、消費税を含めているため、16、17年産についても従来の公表価格に包装代を計上している。
注2: 18年産から毎週入札を実施しているため、価格は通年・期別取引で各月ごとに落札された全銘柄の加重平均価格である。
注3: 価格は17年産までが銘柄ごとの落札数量で加重平均した価格であり、18年産は銘柄ごとの17年産検査数量ウエイトで加重平均した価格である。
注4: 16、17年産の9～10月の価格は月2回(上期・下期)実施のうち、上場数量の多い下期の価格である。
注5: 16年産の3月及び5月の入札は行われなかった。
注6: 16年産の入札は6月で終了している。

資料: コメ価格センター入札取引結果公表より



お米・ごはん情報満載のホームページ 米ネット

米穀機構のホームページ「米ネット」では、お米の価格・消費・生産などの統計データをはじめ、生産者の皆様向けのお米に関する情報やすぐに役立つごはん料理レシピなど最新の情報を常時提供しています。

また、生産者の皆様からの「米ネット」に関するご提案・ご要望をお待ちしております。「生産者のコーナー」の中の「意見を投稿する」の投稿フォームからEメールをご利用ください。皆様のアクセスをお待ちしています。

社団法人 米穀安定供給確保支援機構 情報部

ホームページアドレス <http://www.komenet.jp/>
電話: 03-3222-9583 FAX: 03-3264-1771